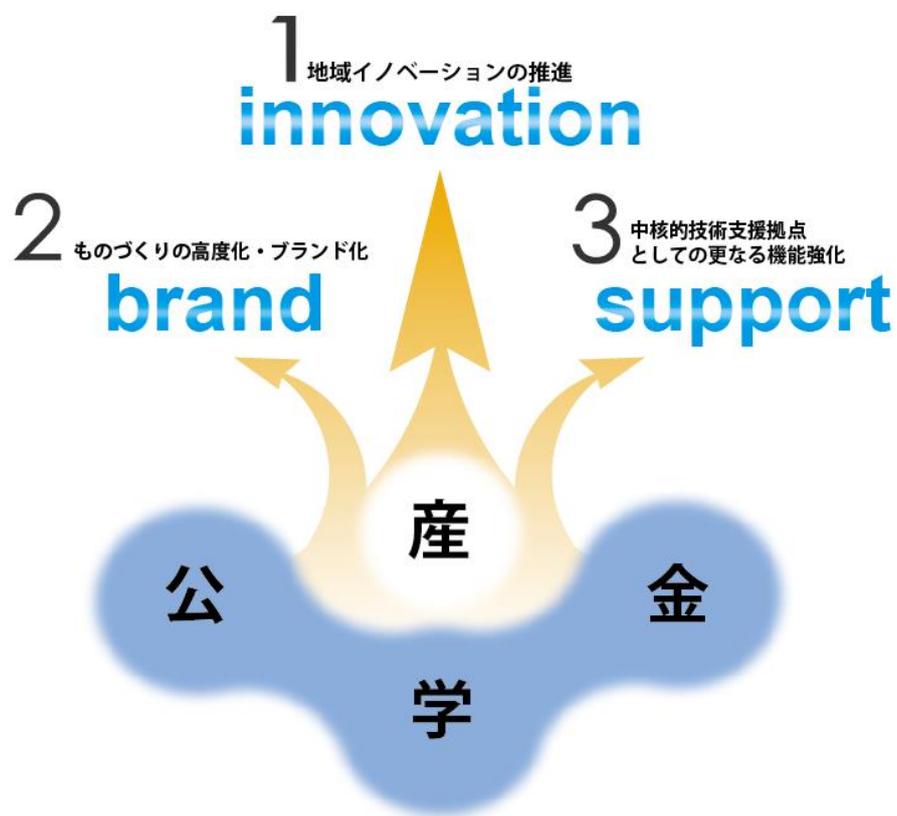


平成26年度

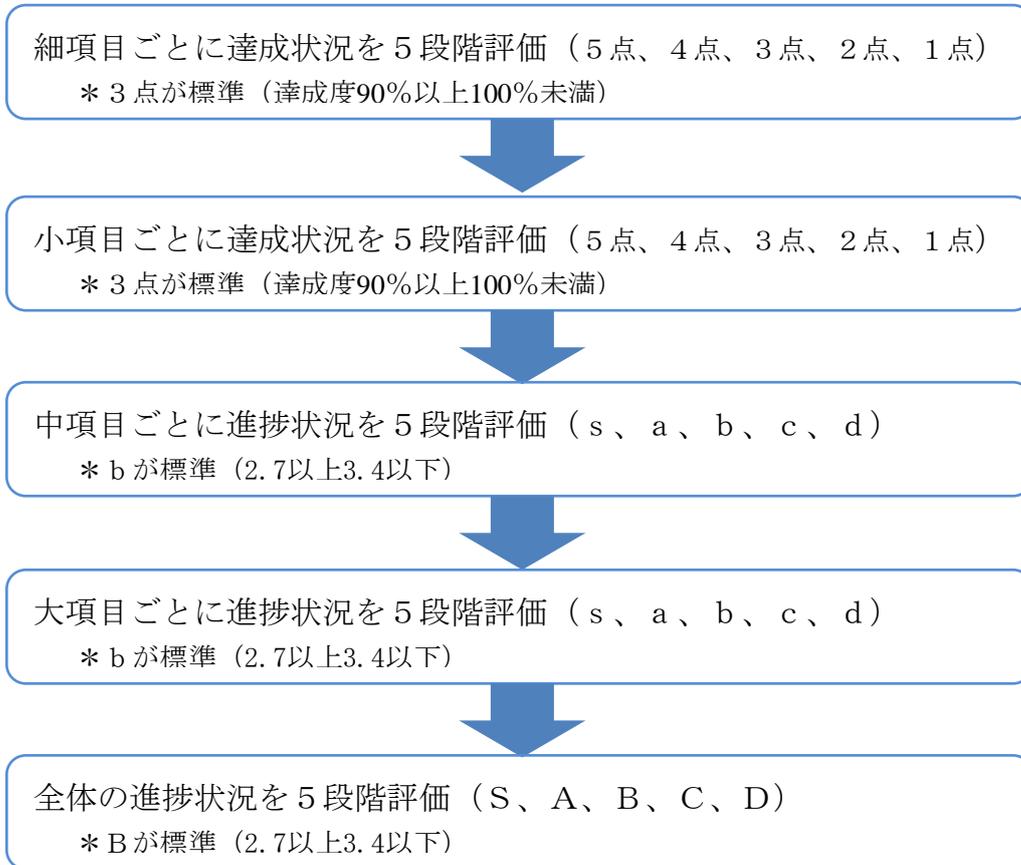
業務実績・決算の概要



平成26年度業務実績

1 自己評価結果

(1) 自己評価の方法



(2) 自己評価の結果

◆全体的な状況

中期計画の進捗は「順調」（A評価：**3.9**ポイント）であった。

全体評価はA、「進捗は順調」となった。

H21年度3.0、H22年度3.2、H23年度3.6、H24年度3.6、H25年度3.8、H26年度3.9ポイントとなり順調に進捗している。第1期から第2期に向け、地域イノベーションの推進を最重要項目とし、イノベーション推進センターの設置をはじめとする様々な仕組みの整備を行った結果、多くの提案公募型事業の採択を生み、中項目評価でSを達成した。

◆評定の概要

別表のとおり

2 平成26年度業務の評価（概要）

【大項目】 第1 県民サービスの質の向上（評定：a 大項目ウエイト平均：4.2）

中項目 小項目 細項目	評定	評定の理由	報告書
		主な取組	
第 1-1 地域イノベーションの推進	s	中項目ウエイト平均：4.5	—
第 1-1-(1) 推進体制の整備	4	年度計画を十分達成 新 イノベーション推進センターの設置 ※2名のプロジェクトプロデューサーを中心とする「医療関連推進チーム」と「環境・エネルギー推進チーム」で構成 新 地域イノベーション戦略支援プログラム（文部科学省省補助事業）の採択 ※総合調整機関：山口県産業技術センター	9
第 1-1-(2) 関係機関との連携による研究開発・事業化促進	5	年度計画を十二分に達成 ・イノベーション推進センターや産学公連携室を中心に企業支援を行い、多くの提案公募型事業に採択 ※イノベーション推進センター支援による獲得件数 29件	10
第 1-2 ものづくり力の高度化・ブランド化の推進	s	中項目ウエイト平均：4.3	—
第 1-2-(1) 実用化研究への取り組み	4	年度計画を十分達成 新 「技術戦略—第2期—[ロードマップ]」を策定・刊行、企業に配布 ・H26に実施した実用化研究では、7テーマ中3テーマで企業による事業化を達成	13
第 1-2-(2) 研究開発成果の普及・活用			—
ア 研究開発成果の発信・活用支援	4	年度計画を十分達成 ・研究発表会開催、研究報告書発行 ・イノベーション推進センターによる精力的な支援 ※企業訪問117社（述ベ239回） ・共同研究・受託研究で、23テーマ中6テーマの事業化・商品化	15

	イ 知的財産の管理	3	年度計画を概ね達成 <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・権利の廃棄・継続を判断するしくみについて、他県の状況を調査し、方向性を検討 </div>	16
	第 1-2-(3) 研究会活動の積極的展開	4	年度計画を十分達成 <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>新中国・四国・九州（沖縄県を除く）の公設試で初めて金属3Dプリンターを導入</p> <p>新3Dプリンターなどを活用した3Dものづくりに関連する技術について調査研究する「やまぐち3Dものづくり研究会」の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キックオフセミナー ・3Dモデリング活用セミナー ・金属3Dプリンターや3D関連機器の見学会 </div>	17
	第 1-2-(4) 研究開発計画策定や資金獲得支援	5	年度計画を十二分に達成 <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・やまぐちブランド技術研究会を中心とする企業の技術革新計画の承認を支援 ※支援した全ての企業（6企業）で計画承認 ・国等の提案公募型事業に、多くの採択支援 ※ものづくり補助金25件 サポイン5件 やまぐち産業振興財団助成金5件 農林水産省補助事業2件 イノベーション推進センターによる獲得支援29件 </div>	19
	第 1-2-(5) 数値目標			—
	ア 特許等の出願及び新規使用許諾件数 11件	3	年度計画を概ね達成 達成率 91% <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> 10件 内訳：特許出願5件、使用許諾5件 </div>	20
	イ 山口県技術革新計画の承認支援件数 4件	5	年度計画を十二分に達成 達成率 150% <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> 6件 支援した全ての企業が計画承認 </div>	20

	ウ 国等の提案公募型事業 の獲得件数 6件	5	年度計画を十二分に達成 達成率 133% <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 8件 内訳（実施契約を伴うもの） ・サポイン4件 ・農林水産省補助事業2件 ・スーパークラスタープログラム1件 ・地域イノベーション戦略支援プログラム1件 </div>	21
	エ 研究開発・技術支援が 事業化（商品化）に至った 件数 8件	5	年度計画を十二分に達成 達成率 125% <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 10件 内訳：研究開発+技術支援2件 研究開発3件 技術支援5件 ※研究開発に関する事業化が5件 </div>	21
第 1-3 「中核的技術支援拠点」 として更なる機能強化	a	中項目ウエイト平均：3.6	-	
第 1-3-(1) 企業支援の一層の 充実	3	3	年度計画を概ね達成 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> < 産学公金連携（連携協力協定の実効性のある取組） > 新産学公金連携セミナーの共同開催 新金融機関主催の相談会への職員派遣 新金融機関との共同企業訪問 ・山口大学との共同研究で事業化を達成 </div>	22
第 1-3-(2) 技術相談の充実	3	3	年度計画を概ね達成 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 新開放機器操作補助員の2名増員 ・サテライト窓口を通じて周南地域地場産業振興センターと連携した企業支援により事業化を達成 </div>	30
第 1-3-(3) 新たな技術課題の 掘り起こし	4	4	年度計画を十分達成 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> < 6次産業化・農商工連携の推進 > 新食品技術に関する試験研究機器を2種類導入（味認識装置、におい識別装置） 新農林総合技術センター等との共同研究が農林水産業の革新的技術緊急展開事業（農林水産省補助事業）に2件採択 ・農林総合技術センターとの共同研究で事業化を達成 </div>	31

第 1-3-(4) 技術支援サービスの充実			—
技術支援機能の強化	3	<p>年度計画を概ね達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業アンケート調査結果を機器整備計画に反映 ・ 企業アンケートにおいて、電話・窓口対応、事務手続き、技術支援サービス等の満足度が 90%以上 ・ 企業要望により H25 から実施している機器利用研修会の継続実施（3テーマ） 	33
ア 開放機器	3	<p>年度計画を概ね達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消費税率引き上げに伴う利用料金の見直し ・ 新規導入機器の年度内開放 ・ 開放機器一覧 2014 の配布 	34
イ 依頼試験	3	<p>年度計画を概ね達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オーダーメイド試験の柔軟な対応 ※依頼試験 621 件のうちオーダーメイド試験 125 件（約 20%） 	34
ウ 受託研究・共同研究	3	<p>年度計画を概ね達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 複数年度にまたがる共同研究の実施 ※共同研究 16 件のうち複数年度にまたがるもの 9 件（約 56%） 	34
エ 技術者研修	3	<p>年度計画を概ね達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員派遣研修 2 件（派遣職員数 4 名） ・ 技術者受入研修 16 名 ※内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・ スポット研修 11 名 ・ 学生研修生 1 名 ・ インターンシップ研修生 3 名 ・ 海外技術研修員 1 名 	35
オ 新事業創造支援センター	4	<p>年度計画を十分達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 新入居要件を改正し、1 企業最大 2 室の開発支援室を申請可能とした。 	35

第1-3-(5) 数値目標			—
ア 技術相談件数 3,300件	4	年度計画を十分達成 達成率 116% 3,815件	36
イ 訪問企業数 230社	5	年度計画を十二分に達成 達成率 151% 348社 ※うちイノベーション推進センターによる 企業訪問数117社	36
ウ 開放機器・依頼試験の 利用件数 3,040件	5	年度計画を十二分に達成 達成率 122% 3,699件	36

【大項目】 第2 業務運営の改善・効率化（評定：b 大項目ウエイト平均：3.2）

中項目	評 定	評定の理由	報 告 書
小項目		主な取組	
細項目			
第2-1 運営体制や経営資源配分 の見直し	3	年度計画を概ね達成 新情報ステーションのレイアウトをリニュー ーアルし、飲食可能なスペースを確保 新ホームページの管理や研究成果の情報発 信を担当する職員を配置	37
第2-2 職員の職能開発	4	年度計画を十分達成 ＜外部講師による研修の実施＞ 新知的財産に係る研修 ※「公設試の知的財産戦略と知的財産マ ネジメント」をテーマに2回開催 ・MOT研修 ※実際の企業を事例とした実務的な研修 を実施	38
第2-3 法人サービスの「見える 化」	3	年度計画を概ね達成 新ホームページのリニューアル ※イノベーション推進センターや各技術 グループの概要を追加	40

第 2-4 コンプライアンスの確保	3	年度計画を概ね達成 ・外部講師による全職員対象の研修（ハラスメントの防止等について）を計画	42
第 2-5 情報管理の徹底	3	年度計画を概ね達成 新 セキュリティ機能付きUSBメモリの導入 ・新規採用職員対象の研修を実施 ・ネットワーク担当者会議の開催	42
第 2-6 機器管理対策の推進	3	年度計画を概ね達成 新 業務継続計画（BCP）の骨子作成	43

【大項目】 第 3 財務内容の改善（評定：a 大項目ウエイト平均：3.6）

中項目 小項目 細項目	評定	評定の理由	報告書
		主な取組	
第 3-1 自己収入の確保	4	年度計画を十分達成 <競争的資金獲得による新規試験研究機器の導入> 新 金属3Dプリンター（対内投資等地域活性化立地推進事業費補助金） 新 味認識装置、におい識別装置（平成25年度補正地域オープンイノベーション促進事業） 新 グロー放電発光表面分析装置（小型自動車等機械工業振興事業（JKA）補助金）	44
第 3-2 経費の抑制	3	年度計画を概ね達成 ・各部所の幹部による予算の審議を行い、より厳密に予算を配分 ・執行管理のため、9月と2月に予算の執行状況の集計を実施	45

【大項目】 第4 その他業務運営に関する重要事項

(評定：b 大項目ウエイト平均：3.3)

中項目	評定	評定の理由	報告書
小項目		主な取組	
細項目			
第4-1 施設設備の適正な管理			—
保守点検・修繕等の計画的な実施	3	年度計画を概ね達成 ・保守点検への計画的な予算配分 ・必要性の高い修繕への優先的な予算執行 ・企業アンケート調査の結果を踏まえた機器整備計画の修正	46
【数値目標】 来庁者数 11,000人	4	年度計画を十分達成 達成率 108% 11,875人 内訳：施設利用 4,969人 (施設利用者 4,216人) (見学者 753人) 外来受付 6,906人	47
第4-2 環境負荷の低減	3	年度計画を概ね達成 ・環境負荷の低減に資する研究開発9テーマ実施 ・環境負荷の低減に資する研究開発・技術支援の成果6件	48

3 平成26年度に計画していた特筆すべき事項に関する取組状況

報告書	特筆すべき事項	取組状況
p. 9 p. 10	・県が策定した医療関連及び環境・エネルギー分野の産業クラスター構想を推進するために、それぞれの分野を担当するプロジェクトプロデューサーやコーディネータを民間企業から招聘し、「イノベーション推進センター」を4月に設置。推進センターでは、研究開発テーマの発掘やマッチング、県や国等の競争的資金の獲得支援、研究開発プロジェクトの進行管理などを実施し、両分野のイノベーションを推進する。	イノベーション推進センターを開設し、平成26年度文部科学省補助事業「地域イノベーション戦略支援プログラム」の総合調整機関として、地域イノベーションの創出を行う体制を整備するとともに、イノベーション推進センターや産学公連携室を中心として、多くの提案公募案件で採択の実績を上げた。
p. 28	・産学公金連携による人材育成セミナー・相談会の開催	産学公金連携による人材育成セミナーを山口銀行、山口大学との共催で開催した。また、山口銀行が主催するものづくり・商業・サービス革新補助金相談会への相談員派遣を行った。加えて山口銀行と共に企業訪問を実施した。 西中国信用金庫が主催する展示会に出展し、技術相談に対応した。
p. 17	・ものづくり力の高度化・ブランド化の取組として、対内投資等地域活性化立地推進事業費補助金を活用した金属3Dプリンターの導入	対内投資等地域活性化立地推進事業費補助金を活用して金属3Dプリンターを導入した。3Dプリンターなどを活用した3Dものづくりに関連する技術について、情報収集、調査研究などの活動を通じて、県内企業の3Dものづくり技術の向上を目的として、「やまぐち3Dものづくり研究会」を新たに立ち上げた。
p. 38	・MOT研修の実施による研究員の人材育成	MOT研修では、企業の協力を得、外部講師の指導の下、実際の企業を事例とした実務的な研修を実施した。また、知的財産に係る実務的な研修を、外部講師を招聘し実施した。

4 平成27年度に計画している特筆すべき事項

- ・研究員の人材育成について、人材育成ワーキングを立ち上げ、企業支援に必要な戦略的かつ持続的な職員研修の企画立案について検討する。
- ・業務運営や財務内容の改善について、事業計画の立案や、業務進捗の状況把握を適切に行い、より精度の高い事業運営を行う。
- ・施設整備については、利用者の要望を反映させ、必要な施設の改修を計画的に実施すると共に、企業要望の高い機器の導入や、保守管理を適切に行う。合わせて、利用促進を図ることを目的として、県内高等学校等の見学誘致を積極的に行う。
- ・技術シーズを見える化し、研究開発成果の普及や事業化をより一層推進する。
- ・企業支援団体との連携協力によりアセアン地域を中心とした海外展開支援を実施する。

平成26年度決算

1 企業会計ベース

(1) 貸借対照表の要旨 (平成27年3月31日現在) (単位: 百万円)

資産の部		負債及び資本の部	
固定資産	6,025	固定負債	305
有形固定資産	6,018	流動負債	76
土地	1,001		
建物	4,629	【負債合計】	380
その他	388	資本金	6,375
無形固定資産	6	資本剰余金	△655
		資本剰余金	169
		損益外減価償却累計額	△824
流動資産	174	損益外減損損失償却累計額	△1
現金及び預金	102	利益剰余金	98
その他	72	積立金	77
		当期末処分利益	21
		【資本合計】	5,818
資産合計	6,199	負債・資本合計	6,199

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

(2) 損益計算書の要旨 (平成26年4月1日～平成27年3月31日) (単位: 百万円)

費用の部		収益の部	
経常費用	836	経常収益	856
業務費	271	運営費交付金収益	567
人件費	449	使用料・手数料収益	36
管理運営費	116	特許実施料	11
		研究事業等収益	151
		資産見返負債戻入	89
		その他収益	1
臨時損失	139	臨時利益	139
(当期純利益)	20)		
当期総利益	21	目的積立金取崩額	1
合計	996	合計	996

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

2 官庁会計ベース

(単位: 百万円)

収入		支出	
運営費交付金	585	業務費	241
施設費	26	人件費	449
研究費収入	149	一般管理費	113
補助金収入	117	施設費	148
その他自己収入	49		
前年度繰越金	41		
積立金取崩	4		
合計	971	合計	950
収支差額			21

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

別表 平成26年度項目別評価結果総括表

(大項目) (中項目) (小項目)	中期計画 における 対象細項 目数	年度計画 における 対象細項 目数	細項目別評価の評点内訳 (個数)					計	細項目別 評価の評点の 平均値	小項目 別評価 の評点	各小項目のウエイト		中項目別 評価 (加重平 均値)	各中項目のウエイト		大項目別 評価 (加重平 均値)	各大項 目のウ エイト	全体評価 (加重平 均値)
			5 点	4 点	3 点	2 点	1 点				配分	考え方		配分	考え方			
全体評価	34	34	7	10	17	0	0	34	3.7									
第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上	23	23	7	7	9	0	0	23	3.9									
1 戦略産業の育成・集積に向けた地域イノベーションの推進	2	2	1	1	0	0	0	2	4.5									
(1) 戦略産業分野における研究開発を支援する体制の整備	1	1	0	1	0	0	0	1	4.0	4	0.5	s (4.5)	0.4	戦略産業の育成・ 集積に向けた地域 イノベーションの 推進に重点的に配 分	a (4.2)	0.7	A (3.9)	
(2) 産学公や企業間連携による研究開発・事業化の促進	1	1	1	0	0	0	0	1	5.0	5	0.5							
2 中小企業力の向上に向けたものづくり力の高度化・ブランド化の推進	9	9	4	3	2	0	0	9	4.2			s (4.3)	0.3	「実用化研究への 重点的取組」に重 点的に配分	a (4.2)	0.7	A (3.9)	
(1) 事業化戦略を踏まえた実用化研究への重点的取組	1	1	0	1	0	0	0	1	4.0	4	0.3							
(2) 研究開発成果の普及とその活用	2	2	0	1	1	0	0	2	3.5	4	0.2							
(3) 各種技術研究会活動の積極的展開	1	1	0	1	0	0	0	1	4.0	4	0.2							
(4) 研究開発計画策定や資金獲得の支援	1	1	1	0	0	0	0	1	5.0	5	0.2							
(5) 数値目標	4	4	3	0	1	0	0	4	4.5	5	0.1							
3 「中核的技術支援拠点」としての更なる機能強化	12	12	2	3	7	0	0	12	3.6			a (3.6)	0.3	いずれも重要な取 り組みでありウエ イトは等分に配分	a (4.2)	0.7	A (3.9)	
(1) 効果的かつ切れ目のない企業支援の一層の充実	1	1	0	0	1	0	0	1	3.0	3	0.2							
(2) 技術相談の充実	1	1	0	0	1	0	0	1	3.0	3	0.2							
(3) 新たな技術課題の掘り起こし	1	1	0	1	0	0	0	1	4.0	4	0.2							
(4) 先端的試験研究機器の整備等による技術支援サービスの充実	6	6	0	1	5	0	0	6	3.2	3	0.2							
(5) 数値目標	3	3	2	1	0	0	0	3	4.7	5	0.2							
第2 業務運営の改善及び効率化	6	6	0	1	5	0	0	6	3.2									
1 運営体制や経営資源配分の継続的見直し	1	1	0	0	1	0	0	1	3.0			b	0.2	法人サービスの見 える化・人材育 成・運営体制に重 点的に配分	b (3.2)	0.15	A (3.9)	
2 職員の職能開発の計画的実施	1	1	0	1	0	0	0	1	4.0			a	0.2					
3 法人サービス業務の「見える化」の推進	1	1	0	0	1	0	0	1	3.0			b	0.3					
4 コンプライアンスの確保	1	1	0	0	1	0	0	1	3.0			b	0.1					
5 情報管理の徹底	1	1	0	0	1	0	0	1	3.0			b	0.1					
6 危機管理対策の推進	1	1	0	0	1	0	0	1	3.0			b	0.1					
第3 財務内容の改善	2	2	0	1	1	0	0	2	3.5									
1 自己収入の確保	1	1	0	1	0	0	0	1	4.0			a	0.6	自己収入の確保に 重点的に配分	a (3.6)	0.1	A (3.9)	
2 経費の抑制	1	1	0	0	1	0	0	1	3.0			b	0.4					
第4 その他業務運営に関する重要事項	3	3	0	1	2	0	0	3	3.3									
1 施設設備の適切な管理	2	2	0	1	1	0	0	2	3.5			a	0.5	いずれも重要な取 り組みでありウエ イトは等分に配分	b (3.3)	0.05	A (3.9)	
2 環境負荷の低減	1	1	0	0	1	0	0	1	3.0			b	0.5					

※小項目がない中項目については、細項目別評価の評点の平均値により評価を行う。